

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>1 本町における企業誘致 と定住促進の施策について</p>	<p>女川町では震災から8年が経過して復興事業が順調に進んできました。行政、議会、産業界、民間の四者が一体となって四輪駆動で町づくりをされてきた方々に改めて敬意を表します。</p> <p>さて、これまで復興のトップランナーとして注目されてきました。しかし、ここ数年、商店街でも観光客も減少してそれを嘆く声も聞こえてきます。人の流れも変化している中でこれからの時代の変化に先駆けた取り組みが必要に感じます。そこで企業誘致や定住促進について本町における今後の施策について伺います。</p> <p>(1) 来年には小中一貫校開校になり女川小学校と女川中学校が公的遊休資産になります。今後の利用方法は。</p> <p>(2) サテライトオフィスなどの企業誘致に向けた今後の取り組みは。</p> <p>(3) 移住・定住促進に向けての今後の取り組みは。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>

質問事項	質問の要旨
<p>2 スポーツ振興策について</p>	<p>総合運動場利用状況関係資料によると女川町総合運動場の利用客は震災前の過去10年では年間20万人以上の利用客がありました。しかし、昨年度は約6万7千人と震災前の3分の1程度となっております。</p> <p>これからは多目的運動場、野球場、清水公園の完成などハード面が整備され県内でも有数の施設を保有することとなりますが、施設などのハード面を最大限活用するためにも、行政やスポーツ団体などが密接に連携を図りながら大会誘致やイベント企画などソフト面を整備していく必要性を感じます。2019女川町総合計画にもスポーツ観光の再生に向け魅力発信や誘客事業を推進すると記載されています。そこで伺います。</p> <p>(1) 誘客事業の取り組みは。</p> <p>(2) スポーツ観光の再生に向けて来年度以降の利用客の目標値は。</p> <p>(3) 今後は管理運営費の増加などが懸念されます。コスト削減を目的とした指定管理者制度の導入についての考えは。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>